

活動テーマ

地域文化の発見と交流
～皆野町金沢地区における学生による工夫と創造～

皆野町金沢地区 十文字学園女子大学

1 活動目的

皆野町金沢地区（埼玉県秩父郡）には、「つつじ祭り（5月5日）」や「カタクリ祭り（3月31日）」など地域のお祭り（年中行事）がある。毎年地域の方々が集まり、盛り上がりを見せている。それらのお祭りに参加し、地域の方とより交流を深めていきたい。

地域の方々に皆野町金沢地区についてさらに知ってもらうのと同時に、本学の学生や他の地域の方々にも皆野町金沢地区のことを知ってもらいたい。

地域の特産品である“もろこし（トウモロコシの粉）”を使った新しい商品を作ることで“たたらの里加工センター”を盛り上げたい。

2 活動地域の現状

皆野町は埼玉県秩父郡に位置している。人口は9,855人で、約1万人が暮らしている（県内で下から4番目の人数）。面積は、63.74km²である（同16位）。50代の方が最も多い。子どもや若い世代の占める割合が少なく、地域の中で少子高齢化が進んでいる。金沢地区では、地元農作物を活用した六次産業化を目指しており、そのためのお手伝いが必要である。

3 活動内容

- ① カタクリ祭り（3月31日）に参加する
- ② つつじ祭り（5月5日）に参加する
- ③ 「たたらの里加工センター」にて新商品の試作品づくり①
- ④ 中間報告会・交流会 への参加
- ⑤ 「たたらの里加工センター」にて桐華祭（本学学園祭）準備
- ⑥ 桐華祭にて、もろこしまドレーヌ・かりんとうの販売、アンケート実施
- ⑦ ふれあい祭り（11月3日）に参加する
- ⑧ 学内にてベーグルの試食
- ⑨ 「たたらの里加工センター」にて新商品の試作品づくり②
- ⑩ 「たたらの里加工センター」にて新商品の試作品づくり③



4 成果

地域で行われる、「カタクリ祭り」「ふれあい祭り」「つつじ祭り」へ参加した。その行事の中で地元の方と蕎麦打ちやしいたけフライづくりをお手伝いした。昨年よりも多くの地域の方と交流をする機会が持てた。実際にお話を伺うと、地元の方の地域への想いをより一層強く感じる事ができた。昨年度作成したリーフレットをカタクリ祭りの祭に配付した。

新商品の開発では、加工センターの方との話しあいを重ねた。試作を重ねて「ベーグル」を加工センターの新商品として作ることが決定した。学内の学園祭でふるさと支援隊として加工センターの商品であるマドレーヌやかりんとうを販売した。その際、購入した方に皆野町とベーグルについてのアンケートを行った。そこから得ることができた情報を基に活動をすすめることができた。三回にわたる試作品づくりを通じ、味や生地を焼く際の温度など、細かいところまで相談することができた。商品化に向け、かなりの手ごたえを得た。



5 課題

新商品のベーグルを商品化することが課題である。そのために試作を続け、ベーグルの味や食感、大きさを含め、定番となるレシピを考えたい。また、地域の方の声をききながらパッケージを工夫したい。今後は、商品化に向けて市場調査を行いたい。

6 次年度以降の計画

次年度以降は、3つの支援内容をより具体的に進めていきたい。

- ① ベーグルの生地にもろこし粉を使い、紅はるかの干し芋味のベーグルを作り、商品化を目指す。
- ② 新商品のパッケージの工夫をする。
- ③ 学内の学園祭や地域のお祭りで新商品の市場調査を行う。

